

◆ 調べて発見! ◆

～調べ方の近道案内（青少年と暮らしの交流室版）No.1～

2018年3月改訂



自由研究 戦争遺構を調べよう!

1 テーマを決めよう



一口に自由研究と言っても幅が広く、何をやったらいいかわからない! と、入口でつまづいてしまう人もいるかもしれません。理科の分野であれば自由研究のやり方を紹介する本も数点出ていますが、それ以外の分野であれば、例えば下記のような本がテーマを見つけるヒントになるでしょう。

『お父さんが教える自由研究の書きかた』 赤木 かん子/著 自由国民社 2009

(002/7/56)

自由研究の基礎的な解説から、テーマの決め方、インターネットなどを用いた調べ方や注意点、レポートの書き方までをわかりやすく解説しています。そもそも「自由研究」とは何なのかを理解するには、最適の一冊です。



『調べることからはじめよう 総合的な学習に役立つ 1 調べ方の計画を立てよう』

山崎 哲男/指導・監修 文研出版 2000 (002/シ/S1)

テーマの決め方、調べ方、まとめ方、発表のやり方など順を追って解説しており、テーマをどのように考えたらよいか分かりやすく解説されています。

『学びの技』 後藤 芳文/ほか著 玉川大学出版部 2014 (002/7/113)

サブタイトルに「14歳からの探究・論文・プレゼンテーション」とあるとおり、テーマの決め方、資料を探す方法、調べたことのまとめかたや発表など、探究学習に必要な事柄を紹介しています。

2 テーマを深めよう

① テーマの概略を調べよう

テーマが決まったらその概略を百科事典、辞書、図鑑などを用いて調べてみましょう。



また、次に挙げる資料などを参考にして、博物館などに行って調べてみるのもよいでしょう。概略を知ることさらにキーワードを増やすこともできます。

『学校では教えない博物館科学館からはじめる「調べ学習」のヒント100』

講談社／編 講談社 2004 (375/カ/S)

あらかじめ設定されたテーマごとに簡単な解説と対応する博物館や科学館が紹介されています。また、コラム欄には「調べ学習のツボ」として、テーマの選び方や調べ方のヒントが紹介されています。試しにテーマをいくつか拾い出してみると・・・

遺跡、稲作、お金、お盆と七夕、活断層、紙、切手、草木染め、クジラ、黒船、コーヒー、コンピューター・グラフィックス、子午線、正月、新聞、水筒、凧、月、南極、農業、飛行機、ひなまつり、富士山、野球、流水・・・など

長期休暇中にある程度時間をかけて行えるものとしては、自然観察や工作などがあげられますが、ここではフィールドワーク(野外調査)を主体としたテーマに絞り込んでいきます。

『フィールドワークは楽しい』 岩波書店編集部／編 岩波書店 2004

(081//S42-474)

フィールドワークとは何か？ という質問に答えてくれるのが本書です。自然科学や考古学、言語学などそれぞれの分野の専門家がフィールドワークの解説や面白さ、調査方法やまとめ方まで伝授してくれます。



②テーマを掘り下げてみよう

魚や鳥の生態や、植物、言語、考古学などのフィールドワークで調べられる分野は様々ですが、ここでは夏休み期間中のテーマとして比較的取り上げられることの多い「戦争」の中から、戦後70年を超えてその記憶も薄れつつある太平洋戦争に関わる「遺跡(遺構)の調査」をテーマをとします。

『日本の戦争遺跡図鑑』 戦争遺跡保存全国ネットワーク／監修 PHP研究所 2013

(210/二/)

全国に残る代表的な軍隊施設、兵器工場、地下壕、基地、要塞などの跡地について、成り立ちなどを写真とともに解説しています。

『戦争遺跡から学ぶ』 戦争遺跡保存全国ネットワーク／編 岩波書店 2003

(081//42-436)

戦争の遺跡(遺構)を調べるうえで基礎的な知識が得られる本です。地下壕、要塞、飛行場、軍需工場など日本国内の戦争遺跡(遺構)の紹介、調査の方法、まとめ方などをわかりやすく解説しています。



また、福岡県内の遺跡（遺構）を調査する場合には、下記の本が役に立ちます。

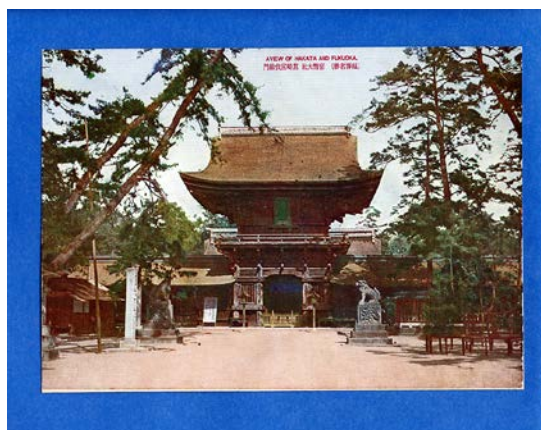
『福岡の戦争遺跡を歩く』 川口 勝彦 他／著 海鳥社 2010（219/1/305）

福岡市内に残る戦争遺跡（遺構）を、市内の各区分に整理して紹介しています。写真や地図も豊富に使い丁寧な解説がついています。

『九州の戦争遺跡』 江浜 明德／著 海鳥社 2012（219/1/342）

九州各地127カ所（うち福岡県は58カ所）の戦跡を地図や写真など豊富な資料を使って解説しています。合わせて各地の米軍駐留遺構、戦争・平和資料館も紹介しています。

福岡県に関する資料については、県立図書館の3階にある「郷土資料室」に集めています。より詳しく調べたい場合はそちらにも行ってみるとよいでしょう。



郷土資料絵葉書「宮崎宮」



さらに詳しく調べてみたいと思った場合は、下記の本をあたってみましょう。かなり詳細な内容ですが、本格的な調査をする際に役に立つでしょう。

『しらべる戦争遺跡の事典』 十菱 駿武／編 柏書房 2002（210/6R/345-1）

『しらべる戦争遺跡の事典 続』 十菱 駿武／編 柏書房 2003（210/6R/345-2）



太平洋戦争中に構築された本土決戦陣地、高射砲陣地や特攻兵器出撃基地、トーチカなど豊富な図版で身近な戦争遺跡の調べ方を紹介する全国版ガイドです。続編では師団・連隊跡、海岸要塞、飛行場、洞窟陣地、奉安殿など遺跡種別に全国網羅。遺跡を歩くフィールドワーク、各県別遺跡所在データ、海外戦跡など一層充実しています。

③ 関連施設を訪ねてみよう

戦争遺跡（遺構）を調査するうえで、下記のような戦争をテーマとした施設を訪ねてみることも大変参考になります。また、施設によっては戦争遺跡（遺構）を回る独自のツアーを企画しているところもありますので、ホームペー



シなどで確認してみるとよいでしょう。

筑前町立大刀洗平和祈念館<http://tachiarai-heiwa.jp/>

引揚港・博多常設展示コーナー<http://hakatakou-hikiage.city.fukuoka.lg.jp/shisetsu/>

戦時資料展示コーナーhttp://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/file_0489.html

嘉麻市立碓井平和祈念館http://www.city.kama.lg.jp/info/prev.asp?fol_id=4070



<調べる時の注意事項>



- ① 本に書いてあることも、インターネットの情報も正確なものとは限りません。必ず、複数の本、ウェブサイトなどで確認しましょう。
- ② 自分が調べた本は、そのタイトルや出版社、出版年を、サイトはURL、見た日などを必ず記録しておきましょう。
- ③ 青少年と暮らしの交流室には、調べもの用にインターネット情報を検索できるパソコンがあります。使用する時はカウンターでお尋ねください。

3 集めたデータを編集しよう

集めたデータは他の人が見ても理解できるように整理しましょう。①や②で紹介した2冊にもまとめ方が紹介されていますが、その他に以下のような本もあります。いずれも小学生向けですが、集めたデータを表にまとめる方法やまとめ方の工夫などが分かりやすく解説されています。



『表・グラフのかき方事典』

小西 豊文／監修 PHP研究所 2009 (350/ヒ/S)

表やグラフの書き方や、それらを使った資料のまとめ方などをわかりやすく解説しています。



『統計グラフ全国コンクール入賞作品集』第63回 統計情報研究開発センター／編集 統計情報研究開発センター 2016

(350/1/123)

統計グラフ全国コンクールで入賞した作品は、グラフを作成するうえで配置や色、大きさなど参考になります。

